

Information 01

牛の飼養管理技術を競う
第14回市畜産共進会

市畜産共進会が7月8日、南方農畜産物集出荷場で開かれました。

共進会は、地域の畜産改良意欲の高揚や、飼養管理技術の向上と普及に努めることを目的に毎年開催しています。今年の共進会には、延べ52頭が出品。上位入賞牛は県共進会の出品牛候補になります。結果は次の通り。



■チャンピオン賞/石越町和牛改良組合

- チャンピオン賞
 - ▼(父系群・3頭1組) 石越町和牛改良組合(ゆりふく号)
 - ▼千葉美芳・ゆりひさ号/佐藤宜克・ちゃっぴい号/武内和義
- 最優秀賞
 - ▼1区(若雌の1) かもえ号
 - ▼伊藤博幸(迫町)
 - ▼2区(若雌の2) ぺこちゃん号/船島一芳(中田町)
- 優良賞
 - ▼1区(若雌の1) しばらいと号/チバズファーム・めぐふくひさ号/及川養治郎(米山町)
 - ▼2区(若雌の2) さちこ2号/小野寺正人(迫町)、おくさくら号/N・O・A(中田町)
 - ▼3区(経産) だいかつひろ号/星ファーム(迫町)
 - ▼4区(父系群) 迫町和牛改良組合きたふくひさ号/新田剛姿、さちこ2号/小野寺正人、かつふく号/岡田健雄
- 優秀賞
 - ▼3区(経産) さいぜんれつ号/小野寺正人(迫町)
 - ▼4区(父系群・3頭1組) 石越町和牛改良組合(ゆりふく号/千葉美芳・ゆりひさ号/佐藤宜克・ちゃっぴい号/武内和義)

Information 02

新しい受給資格者証を
郵送でお届けします

医療費助成受給資格者証の有効期間は、交付した年の10月1日から翌年9月30日までの1年間です。受給要件を満たす人には、新しい受給資格者証を9月下旬に送付します。手続きは不要です。

また、所得基準額を超えたことなどにより、受給要件を満たさなくなった人には、その旨をお知らせします。

ただし、次に該当する場合は、受給要件が確認できないため、手続きが必要です。

- 所得の申告が済んでいない
- 医療費助成受給資格者証の有効期間は、交付した年の10月1日から翌年9月30日までの1年間です。受給要件を満たす人には、新しい受給資格者証を9月下旬に送付します。手続きは不要です。
- 場合 確定申告、住民税の申告が必要
- 転入や単身赴任などにより、登米市で所得情報が確認できない場合 同意書(マイナンバー)による情報照会、または所得証明書(扶養人数や税控除額が分かるもの)の提出が必要です
- 【対象者】子ども医療費助成、障害者医療費助成、母子・父子家庭医療費助成の受給者
- 【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係)

☎0220(58)2166

Information 03

市内施設の
指定管理者を募集

公の施設を管理運営する、指定管理者(団体)を募集します。個人は応募できません。

【募集申請期限】9月10日(金)午後5時まで

【募集要項・申請書】指定管理者を募集する施設の担当部署で配布します。申請に関する詳細は、担当部署へお問い合わせください

【指定期間(予定)】令和4年4月1日~令和7年3月31日

【問い合わせ】総務部財政経営課(スマートフォン行政推進係)

☎0220(22)2159

Information 04

登米市優良工事施工業者、技術者を表彰

令和2年度に完成した優良な工事の施工業者、技術者の表彰式が7月21日、迫公民館で行われました。

この表彰は、他の模範となる工事の施工業者、技術者を表彰することにより、施工意欲を高め、工事の質的向上を図ることを目的として実施。

令和2年度に完成した工事から10件を選出し、市施工業者9社、技術者10人が表彰されました。

【登米市優良工事施工業者等表彰】

- 施工業者(代表者)名 技術者名
- ▼阿部建設(阿部一男) 阿部勤 佐々重(佐々木重郎) 猪股 佐々子 佐々重(佐々木重一郎) 高橋義之 島津組(島津典子) 鈴木くみ子
- ▼鈴木建設(鈴木隆二) 佐藤順一 大伸建設(佐藤剛) 高橋章喜 門間工務店(門間幸二) 門間和幸 菅慶(菅原慶二) 阿部重直 日新クリエーション(鈴木哲也) 木川田秀男 渡辺商事(渡邊潤) 佐々木卓哉

【問い合わせ】契約検査室(検査係)

☎0220(22)2097

指定管理者を募集する施設

施設の名称	問い合わせ(担当部署)
①中田農産物直売所 ②中田農産物加工所	産業経済部 地域ビジネス支援課 ☎0220(34)2706
③登米市登米総合体育館 ④登米市登米総合運動公園 ⑤登米市登米武道館	教育部 生涯学習課 ☎0220(34)2698
⑥登米市南方武道伝承館 ⑦登米市南方総合運動場 ⑧登米市南方中央運動広場	
⑨登米市米山体育館 ⑩登米市吉田運動場 ⑪登米市中津山運動場	



「登米市感謝状贈呈式」は7月5日、小澤道孝氏の自宅で開かれ、熊谷市長から感謝状が贈呈されました。

小澤氏は県外の病院勤務を経て、昭和48年に米山町中津山に小澤医院を開院。今年5月の閉院まで地域の診療所として住民から親しまれ、予防接種事業や乳幼児健診、休日当番医など多岐にわたる地域医療に協力していただきました。

また、自ら住民の先頭に立ちウオーキングを実践。地域一体となった健康づくりに尽力しました。

小澤氏は「80歳を区切りと考へていた。これから若い医師へ助言などを行いたい」と話しました。

大坂國通市医師会長は「長い間ありがとうございました。後輩の1人としてさびしく思います。これからも先輩として地域の医師を見守ってほしい」と感謝を伝えました。